

農山漁村地域整備計画事前評価調書

計画の名称	「みやざきの安全・安心で災害に強い県土づくり」計画(第3期)
計画策定主体	宮崎県
対象市町村	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、えびの市、西都市、三股町、高原町、国富町、綾町、新富町、川南町、高鍋町、西米良村、木城町、都農町、門川町、諸塚村、美郷町、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町(26市町村)
計画期間	令和2年度～令和6年度(5年間)
計画の目標	宮崎県森林・林業長期計画の基本計画において、山地災害の防止と復旧対策の推進を掲げており、山地災害危険地区の解消に取り組むこととしている。このため、本整備計画において目標の達成に向け、治山施設の設置や機能が低下した保安林等の整備など、治山事業を推進し、災害に強い県土づくりを行う。
定量的指標	山地災害危険地区について、治山事業に着手し、山地災害の危険が解消され、山地災害防止機能等が確保される地区数を、令和元年度末現在2,557地区から令和6年度末で約2,639地区とする。 また、漁場等の保全を図るため保安林の改良等により、水源かん養機能や土砂流出防止機能等を高度に発揮する森林を約400ha増加させる。

	項目	評価細目	評価	説明欄
評価	目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	適	県が策定した「宮崎県森林・林業長期計画」に定める目標や方向性と整合性がとれている
		2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	適	本県は、急峻な地形に加え、シラスなどの脆弱な地質が広く分布しており、災害が発生しやすい条件下にあり、本計画の目標は、これらの課題に対応した計画となっている
	整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているかまた、事後評価ができる適切な指標となっているか	適	本計画では、計画の目標を達成するための山地災害危険地区の事業着手地区数を指標としており、中間評価、事後評価が実施可能である
		2 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	適	整備計画に位置づけた事業は、計画の目標を達成するために必要な事業であり、事業実施による効果を評価する指標となっている
	整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	適	対象事業は、地域の課題に対応したものであり、県、市町村、関係団体等が一体となって推進されることが確実である
		2 地元の推進体制等は整っているか	適	対象事業は、市町村から申請される事業であり、地元関係者からの同意が得られているなど、推進体制が整っている